

令和7年度 体力向上における各校の取組みと成果(小学校)

若狭町

教育委員会

No	学校名		項目	具体的な取組み	成果
1	三方	小学校	本校の体力向上の取組みについて	授業開始時に心肺に適切な負荷をかける運動時間の確保	体力テスト・20mシャトルランの平均記録結果が昨年度よりも向上し、基礎的持久力に高まりがみられた。 (5年男子:+8.73回 5年女子:+13.6回 6年男子:+2.51回 6年女子:+2.91回)
2	気山	小学校	児童生徒の運動習慣の育成について	毎週、体育の授業振り返りシートを記入し、できるようになったことやがんばったことを蓄積し、達成感や成長を実感する機会を設け意欲的に運動に取り組めるようにした。	「もっと速く走るにはどうしたらよいか」「もっと遠くに投げるにはどうしたらよいか」等の向上心が芽生え、そのコツを児童間で話し合ったり教員にアドバイスを求めてくる場面が増えた。これにより更に主体的に運動やスポーツに取り組めるようになった。
3	梅の里	小学校	児童生徒の運動習慣の育成について	いつでもどこでも「はぴりゅうスポーツ広場」に取り組むことができるように、タブレットの操作方法を知らせておく。	登校後の少しの時間や休み時間、また家庭で自主的に取り組む児童が増えた。また、中学年体育のウォーミングアップとして”はぴスポタイム”を約10分間設け、意欲的に取り組んでいる姿が多く見られた。
4	みそみ	小学校	本校の体力向上の取組みについて	昨年度と同様、5月～10月中旬まで、週に2回、3学年毎に分けて朝マラソンを実施した。11月～1月中旬までは、週に2回、3学年毎に分けて朝なわとびを実施した。	マラソン大会においては、1・2年生は1km、3・4年生は1.5km、5・6年生は2kmを全員が走り切ることができた。またなわとび大会では、70%の児童が学年における持久とびの目標を達成することができた。
5	鳥羽	小学校	児童生徒の運動習慣の育成について	年間を通しての朝スポの継続(委員会主体) (はぴスポ、短・大縄跳び) 天候や気温、行事などを照らし合わせながら週1～2回実施した。	友達と声をかけあって笑顔で運動に向かう様子が見られたり、委員会児童主体での運営がスムーズにできるようになったりと、遊びやイベントを通して児童の意欲・主体性が成長した。

6	上中	小学校	児童生徒の運動習慣の育成について	学年遊び・縦割り班遊び(週1回) 昨年度までと同様、学年遊び縦割り班遊びを実施した。縦割り班遊びは、1～6年生の12人程度を1グループとして遊んだ。また、全校遊びを体育委員会中心に企画して年4回実施した。	体育館やグラウンドで積極的に運動に向かう様子が見られた。複数の縦割り班が合同で縦割り遊びを実施するなど、多くの人と関わりながら運動を楽しむ機会を設けた。1年間を通して運動に対する意欲の向上や、児童の仲間づくり・居場所づくりにもつながった。
7	三宅	小学校	児童生徒の運動習慣の育成について	運動意欲の向上 季節に応じた特色ある活動を計画し、その活動ごとに記録会等を設けた。外部講師による出前授業(サッカーや陸上競技、体軸教室)を計画した。	記録会や発表会を設けたことで、意欲が高まり、進んで運動に取り組むことができた。また、自己ベストを更新しようと仲間と切磋琢磨する姿も見られた。専門の方に教えてもらったことで、競技の楽しさを実感でき、運動意欲につながった。
8	野木	小学校	本校の体力向上の取組みについて	6年生が主体となり、週に1度「縦割り遊び」として1年生～6年生で遊ぶ時間を設ける。	今年度から始めた「縦割り遊び」だが、低学年の児童も楽しく遊べるように6年生が工夫を凝らしていた。また、6年生と一緒にした遊びなどを各学級で再度取り組む姿も見られた。